

舞鶴 若もん「ワーク&ライフ」

舞鶴の企業で働く若者の声

二谷 美穂 さん(26)

丸玉産業(株)舞鶴工場 勤務



インフォメーション係としてお客様への対応や工場で作られる運転手さんにも、短時間での確に理解してもらえら

ものづくり産業の力になりたい

面接に参加するまでは、丸玉産業が手掛ける業務の内容はよく知りませんでしたが、企業ブースでの説明で、舞鶴工場が合板だけでなく、フローリングをはじめとする室内建材なども製造し、大手ハウスメーカーに多く納品されていることなどを知りました。また、希望していた事務職の募集があったことから受験し、採用していただきま

地元で就職したきっかけ
市内の高校から、京都市の大学に進学しました。就職活動を始めた当初は、舞鶴に戻って就職することはあまり考えず、京都や大阪で就職活動をしていました。夏休みに舞鶴市の合同就職面接会「ふるさとコール MAIZURU」に両親の勧めもあり参加しました。

休日には歴史探訪

大学に進学して、一度舞鶴を離れていましたので、舞鶴で生活していたときには気付かなかった故郷の良いところを改めて感じるようになりまし。特に、自然に囲まれた環境で空気や水、魚介類も新鮮でおいしいと改めて実感しています。

車で通勤しているうちに運転もすつかり上達し、時間があれば興味のある史跡や寺社を巡るため、京都まで足をのびすなど「歴史探訪」を満喫しています。

市内にも、知れば知るほどワクワクするような史跡などがたくさんあるので、今後は舞鶴をはじめ近隣市町の寺社も巡りたいと思っています。

保護者のための就活勉強会 ～保護者ができる就活支援～

最新の就職環境や就職活動の実態、保護者としての就活の支援、地元企業の魅力と採用情報など、保護者を対象とした説明会を開催。市外で働いているお子さんのUターンを考えている人にもお勧めです。無料。

【日時】12月4日(日)14時～15時30分

【場所】商工観光センター

【対象】大学・短大・専門学校などの学生(院生も含む)の保護者など。

▶詳しくは、企業立地・雇用促進課(☎66・1021)へ。



ウェブサイト「舞鶴働く場ガイド」もチェック

市内で求人予定のある企業約50社の事業内容や採用情報、会社の特色・PRポイントなどを発信。

◇ URL: <http://www.maizuru-koyou.org/>



舞鶴市・高浜町合同就職フェア ～地元で働き暮らしたい人へ～

舞鶴市と高浜町の企業50社が参加して行われる合同就職説明会を開催。両地域の合同開催は初めて。

【日時】11月5日(土)13時～15時30分

【場所】商工観光センター

▶詳しくは、企業立地・雇用促進課(☎66・1021)へ。



JOB サボ 舞鶴で働きたい人の総合窓口
サポ ジョブ・サポートまじづる
 舞鶴市字浜 66 商工観光センター4階
 【開設日時】月～金曜日、9時～17時(土・日曜日、祝日、年末年始を除く)
 ☎63・0810 FAX 62・4589 ジョブ・サポートまじづる 検索

区域区分見直し基準(案)にかかる説明会を開催

意見の募集に合わせて、「区域区分見直し基準(案)」への理解を深めていただくために次の通り説明会を開催します。いずれも同じ内容で実施。

【説明会の日程】

日時	場所
11月27日(日) 10時30分～11時30分	商工観光センター
11月29日(火) 19時～20時	西駅交流センター
11月30日(水) 19時～20時	中総合会館
12月8日(休) 19時～20時	商工観光センター
12月10日(土) 10時30分～11時30分	西駅交流センター

市では、次世代が心豊かに暮らせるまちづくりの実現と舞鶴版コンパクトシティを推進するため、都市計画の区域区分の見直しを進めています。このたび、舞鶴市新たな都市計画制度検討会を進めていた市街化区域・市街化調整区域の線引きを行う「区域区分見直し基準(案)」がまとまりましたので、市パブリック・コメント手続制度に基づき市民の皆さんから意見を募集します。

提出方法 様式は自由。住所、氏名、電話番号を記入し、「区域区分見直し基準(案)に対する意見」と明記し、郵送か持参、ファクス、電子メール、市ホームページのお問い合わせフォームへ。
 ◆提出された意見の取り扱い 提出された意見などを考慮して最終案を作成。また、意見の概要と意見に対する市の考え方を整理し公表します。氏名などは公表しません。
 ◆詳しくは、都市計画課(☎66・1048)へ。

都市計画

パブリックコメント手続制度 区域区分見直し基準(案)に関する意見を

廃棄物減量等推進審議会を開催 ごみの減量に向けて



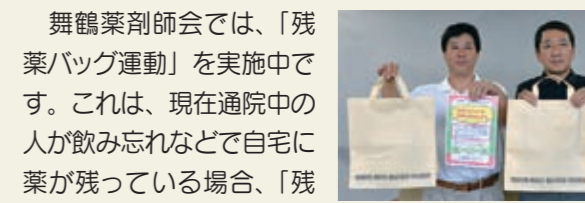
▲第1回会議の様子

一般廃棄物の減量化と適正処理について審議する「舞鶴市廃棄物減量等推進審議会(会長=山川肇・京都府立大大学院教授)」を設置。10月5日、赤れんが2号棟で第1回会議を開催しました。

同審議会は、今年度見直した新たな「一般廃棄物処理基本計画」に基づくごみの減量化施策などについて審議していただくため、市民や関係団体、学識経験者など計12人で設置したものです(任期は2年)。

今後、ごみの減量に向けた施策について議論いただく予定です。《生活環境課》

ご自宅に残っているお薬はありませんか? 残薬バッグのご利用を



▲残薬バッグ

舞鶴薬剤師会では、「残薬バッグ運動」を実施中です。これは、現在通院中の人が飲み忘れなどで自宅に薬が残っている場合、「残薬バッグ」に薬を入れてかかりつけ薬局に持参して頂くと、薬局が医療機関と連携を取り、次回受診時に残薬調整することで無駄をなくし薬剤費の負担軽減を図る取り組みです。

自宅に残っている薬があれば、薬局などで無料で配布する「残薬バッグ」に入れて、近くの薬局までお持ちください。

【実施期間】12月末まで
 【残薬バッグの配布場所】舞鶴市内の調剤薬局、訪問看護事業所、地域包括支援センターなど
 【主催】舞鶴薬剤師会・京都府薬剤師会
 【共催】舞鶴医師会・舞鶴歯科医師会
 ▶詳しくは、ヘイワ薬局(☎77・1078)か地域医療課(☎66・1051)へ。